事例No.	1371
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	秋田県男鹿市

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・EBPM ・消防・防災

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

森林経営管理制度に基づく市町村による調査の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

秋田県　男鹿市（森林経営管理制度に基づく市町村による調査の実施）

- 男鹿市では、不在地主の増加で、手入れ不足の人工林が増え、土砂災害の発生の危険性が高まっていることから、森林環境譲与税を財源として、森林組合等における間伐を支援するとともに、経済ベースで成り立たない森林については、森林経営管理制度に基づく間伐を進めていく方針。
- 令和元年度は森林所有者への意向調査に向けて、所有者情報の整理と対象地の選定、優先順位の決定付けを行い、市内の私有林人工林約1,500haの意向調査の事前準備に取り組んだ。また、令和２年度は８７．３８ｈａの意向調査を実施。今後15年程度をかけて、市内全域の意向調査を進めていくこととしている。

□　事業内容

1　森林所有者への意向調査の実施

当市は観光地であることから、景観向上を優先し、意向調査を実施。254人の森林所有者に対し、森林の経営管理の意向を調査。

【事　業　費】587千円（全額譲与税）

【実　　績】意向調査面積　87.38ha

2　林況調査の実施

意向調査において市に経営管理を委託したいと希望があった森林について、現況調査を実施。

【事　業　費】1,535千円（全額譲与税）

【実　　績】森林の現況調査　58人分・21.85ha



（活動計画等打合せ）



（林況調査状況）

□　事業スキーム

森林所有者への意向調査の実施



◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	19,988千円
②私有林人工林面積（※１）	5,543ha
③林野率（※２）	52%
④人口（※３）	28,375人
⑤林業就業者数（※３）	41人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より